



園便り 如月

令和2年2月3日
こころの保育園文京西片

今年に入って早一か月。今のクラスも残り二か月となって来ました。

懇談会へのご参加ありがとうございました。各クラスのスライドショーを作成しながら、どのクラスの子も顔つきが変わっていて、4月の頃を思い返し成長したことを感じました。

5歳児は卒園に向けての行事が多くなります。卒園式前になると、ぽかぽかコーナーに卒園児に向けたメッセージ記入コーナーを設けますので、ぜひご記入ください。

懇談会でもお話しましたが、今後登降園時間の自動記録をするため、タブレットが玄関に置いてあります。入退室の際にカードキーのタッチをお願いします。なお、子どもがやりたいと言う時があると思いますが、精密機械ですのでできない旨を話して頂き、必ず大人がタッチするよう、ご協力をお願いいたします。

4歳児クラスの懇談会は、今年も卒園児保護者の小学校の先生をお呼びして小学校生活についてのお話をして頂きました。

勉強が嫌いにならないよう、「こうやったらもっとかっこよく書けるよ」「このお皿をテーブルに配って欲しい」など声掛けをし、日ごろから行っていることがその後の勉強に結びついてくる、というお話もありました。

先日私が聞いた話の中に、幼児期の体験がその後の勉強と結びついて来るので、様々な経験をしておくといい、というものがありません。例えば、砂遊びで砂が落ちる様子を見ていることが、重力の勉強と結びついたり、ピザをホールで頼んだ場合、最初は何カットあって〇人家族で2枚ずつ食べたら△枚残った、という経験が掛け算、割り算の勉強につながったりということです。平仮名、数字の勉強に入る前に、日常でそういった経験が増えるよう、保育園でも活動していきたいと思います。お家でもお皿並べなど、いかがでしょうか。

先日行った研修で、子どものことが嫌になる理由の、年齢別統計が出ていました。

- ・0か月～6か月は子どもが泣くこと。
- ・9か月～15か月はいたずらすること。
- ・18か月から24か月は自己主張、プチ反抗期。

これらを見てみると、子どもの発達によって嫌になる、というデータとなっており、今までとは違うことへの対応の難しさからの嫌という心理になるというお話でした。その月齢によって、子どもの難しさは変化していくので悩みも変わって来ます。今月、個人面談も行ってありますので、ご家庭でなにかありましたら、ご相談ください。お待ちしております。

2月の主な行事予定

2月 1日(土)	4歳児クラス懇談会(10:15~11:15)
2月 3日(月)	豆まき
2月 5日(水)	1歳児健診
2月 5日(水)	乳児クラス個人面談
~7日(金)	※個人面談は 希望される方のみ対象 で、上記の日程以降でも受け付けてます。
2月 7日(金)	身体重測定
2月15日(土)	5歳児お点前
2月中旬予定	5歳児クラスお別れ遠足 お弁当の用意をお願いします ※その他詳細は後日お知らせします
2月22日(土)	地域活動 おひなさま製作



3月の主な行事予定

3月 3日(火) ひなまつり
3月 6日(金) 身体測定
3月17日(火) 4歳児遠足
3月 4日(水) 1歳児健診
3月14日(土) 卒園式
お弁当の用意をお願いします
※その他詳細は後日お知らせします



保育士体験について

保育士体験は随時受付けています。お仕事の都合に合わせて、是非おいでください。
(園の予定もありますので、予め希望の日をお知らせ頂き調整のうえ実施となります)。

今月の地域活動プログラム

今回はひな祭りに合わせて、おひな様製作です。こころの保育園に在園のお子さんと保護者の方も対象です。詳細は後日お知らせします。

日時：2月22日(土) 1・2歳 9:30~10:30
3~5歳 10:45~11:45



ほけんだよ!

1月下旬から2月にかけて最も寒くなると言われていますが、寒いからと言っておうちの窓を閉め切っていませんか?長い時間換気をしない室内は、ウイルスやほこりで汚れています。こまめに換気を行い、空気の入替えを心がけていきましょう。

冬のあせも・とびひ

あせもやとびひと言えば、夏場のイメージが強いですが、最近は暖房や厚着が原因で、冬場でもなる子が多いようです。子どもは代謝がよく、たくさん汗をかくので、服装は大人より一枚少なめが基本です。乳児は、特におむつの中がむれやすくなるので、上下のつながったタイプの肌着はなるべく避け、時々背中に触れて、汗をかいてないかどうか確認しましょう。



室温管理・換気

部屋の中を温めると、空気が乾燥し、具合が悪くなる子が出てきます。設定温度は18℃~20℃を目安に、なるべく足元を中心に温め、上半身は温め過ぎないようにしましょう。

また、1時間に1回は窓を開けて空気の入替えを行い、加湿器などで部屋の湿度を保ちましょう。加湿器がなくても、室内に洗濯物を干したり、コップ一杯の水を暖房器具の近くに置いたりすることで、部屋が乾燥しにくくなります。



乾燥対策のポイント

湿度が50%以下になると、皮膚の乾燥が始まると言われています。加湿器の使用や洗濯物の部屋干しなどで、室内の温度調節を行い、衣類は通気性がよい物を選びましょう。特に乳児は、冬場だけでなく一年を通したスキンケアが欠かせません。医師や薬剤師に相談して、子どもの肌質や年齢にあった保湿剤を見つけておくのもいいですよ。